

実践例

春野コミュニティ・スクール

地域の方のおかげで、学校だけではできない特色ある教育ができています



春野中学校
校長 小川 真悟 さん

令 和4年度からスタートした春野コミュニティ・スクールでは、まず時間をかけて「どんな子どもを育てていくか」を話し合い、「春野がめざす子どもの姿」を一緒に作り上げました。それぞれの小中学校で、読み聞かせなどの学習支援、農家をはじめ多様な職業の方による進路学習、通学路の草刈りや登下校の見守りなど、学校と地域が一体となった取り組みができています。



昨年の学校運営協議会で「学校・家庭・地域が連携を深めるためにできること」を協議。

学校や地域で、「どんなことができるかな」とワクワクしています



防災ネットワーク会や地元企業も参加して本格的な訓練を行った「防災の日」。

これまで、「学校に協力したい、何かできることはないか」という地域の方がいても、あまり関わり合うことができませんでした。コミュニティ・スクールが導入されたことによって、地域住民が主体的に子どもたちのこと、学校運営のこと、地域のことを考え、動くことができるようになりました。これからますます面白くなると楽しみにしています。



春野地区小・中学校運営協議会
会長 中村 彰宏 さん

学校の行き帰りで、近所の方が見守りをしてくれるので、とても安心しています。



春野中学校 3年生
萩野 凌 さん

「一日先生」では、地域の方に講師になってもらい、あじさい太鼓や西畑人形など12の講座から選んで鑑賞や体験をしました。春野のことがよく分かり、何かに挑戦したい気持ちが高まりました。



春野西小学校 6年生
峰 妃南 さん

学校の行き帰りで、近所の方が見守りをしてくれるので、とても安心しています。

私でも参加できる?!

コミュニティ・スクールのQ&A



- Q:** 今まで学校運営や教育活動に関わったことがないので、自分に何ができるのかわかりません。
- A:** 特別なことではなく、例えば子どもたちの登下校の見守りなどでも、学校教育活動の大きな支えになります。
- Q:** 活動への参加はどのように依頼が来るのでしょうか。
- A:** 依頼の方法は学校や地域で異なります。事前に書面でのお知らせや、場合によっては電話等で急なお願いをさせていただくこともあります。
- Q:** 学校運営や地域課題に対する意見はどのように伝えればよいですか。
- A:** 活動の際に気づいたことは、その場で活動の担当者にお伝えください。そういったご意見が学校や地域の課題解決につながることもあります。
- Q:** 学校運営協議会の委員になりたいです。
- A:** 学校運営協議会の委員は学校長の推薦によって、教育委員会が任命しています。地域で広いネットワークを持つ方が委員になるケースが多いので、まずは各活動への積極的なご参加をお願いします。

コミュニティ・スクールの取り組みで、地域と学校の日常的なつながりが生まれます。顔の見える関係ができると、大規模災害時の避難所運営など、地域防災の点でもメリットがあります。

子どもたちのため、そして地域の未来のために、「地域とともにある学校づくり」へのご協力をお願いします!



教育委員会
学校教育課
木村 さん

この記事についての問い合わせは
学校教育課 ☎823-9479



今、全国に広がるコミュニティ・スクールは、学校と地域等が一体となって子どもたちの教育や特色ある学校づくりに取り組むもので、本市でも多くの学校で取り入れられています。

なぜ今、必要とされるのか

デジタル化の進展、不登校や非行の問題、地域の過疎化・少子高齢化など、子どもたちを取り巻く環境は日々変化しています。そこで、子どもたちの将来を見据えた取り組みとして「コミュニティ・スクール」が生まれました。

保護者や地域住民が積極的に学校運営へ参画することで、子どもたちとのつながりが生まれ、地域全体で子どもたちを育てる意識が芽生えるとともに、つながりが希薄化している地域の課題解決にもつながっていくことが期待されています。

話し合おう! 「思いを共有」する

コミュニティ・スクールには、学校関係者・保護者・地域住民の代表等で構成された「学校運営協議会」が設置されています。協議会では、参加者それぞれの立場や経験、視点で「地域の子どもの、どのように育ててほしいのか」といったビジョンや、地域の課題を共有します。そして、そのビジョンの実現や課題の解決に向けて、地域住民の知識や技術を取り入れながら、授業の支援や子どもたちの体験学習、地域の行事などに一緒に取り組みます。

